

地域に関心を  
持ってもらうには？

目的を達成できる  
企画って？

未来を描く！ 創る！  
イノベーティブな  
生徒たち

第3回

## 楽しく、でも本質は見失わない！ 「地域」を発信する学校公認 YouTuber

<sup>あやね</sup>二宮綾音さん・3年生(左) / <sup>のぞみ</sup>大竹希美さん・3年生(右)

山形県立米沢東高校

### 地

域の魅力動画を発信する、山形県立米沢東高校公認 YouTuber「おたみや」。メンバー

の大竹希美さんと二宮綾音さんがアップする動画は、米沢の特産品の紹介や、地域で活躍する人たちへのインタビューなど。2人は、1年生の時から、担任の高橋英路先生の下で地域探究に取り組み、地域活動にも積極的に参加してきた。しかし2020年度、新型コロナウイルスの感染拡大によって、地域活動の多くが中止に。リアルの場集まることができなくても、人が結びつき、地域について考えられる場をつくることはできないかと悩んだ2人がたどり着いたのが、YouTubeだった。

ターゲットは中高生。地域活動に参加した際、同世代の参加者の少なさが気になったからだ。だが、二宮さんは、「私も昔は、米沢に興味は持っていなかった」と明かす。

「先生に勧められて地域活動に参加して、いろいろな立場の人がつながりながら地域の問題を解決しようとしていることを、素敵だなど感じました。そうした人たちの活躍、そして地域の魅力や課題を高校生が目

イノベーションの芽を育てる

## 教師たち



山形県立米沢東高校  
3学年担任  
高橋英路

### 生徒と校外をつなぎ、 多様な力を育む

大竹さん、二宮さんは、1年次から地域のお祭りの実行委員として活動したり、大学主催のワークショップに参加したりする中で、外の世界の広さを知りました。すると、2人は、YouTubeチャンネルの開設やイノベーションコンテストへの出場など、自ら新しい挑戦を始めました。地域の行動的な大人たちとの出会いに影響を受けた生徒は、次第に自分の考えを臆せず他者に伝え、行動するようになります。2人はまさに、そうした姿を見せてくれましたし、2人に続くように自ら地域に働きかける生徒も増えています。生徒は、これからの社会で生きるためには、教科学力以外にも様々な力が必要だと気づいています。もっと生徒を校外の多様な人たちとつないでいきたいですし、そのためには、私たち教師も、様々な分野で活躍する校外の人たちとこれまで以上につながる必要があると思っています。

線で発信することで、私のように地域に興味を持つようになる中高生が増えたらいいなと思いました」  
これまでに投稿した動画は約40本。動画制作に先立って、2人は校内で生徒対象のアンケートを実施し、どのような動画が人気なのかを調べた。その結果、高校生が支持するのは、ドッキリ企画、ゲーム実況、飲食場面の配信などだと分かった。しかし、大竹さんは、「仮にゲーム実況の動画で中高生から支持を得たとしても、地域の情報が発信できていなければ活動の本来の目的とかけ離れたものになるし、一方で、中高生の嗜好を無視して動画を作ったら、中高生に見てもらえないのでは

ないか」と悩んだという。  
「ウケること以上に、本来の目的を大切にして動画を作ろうと2人で話し合いました。そして、どうしても地域と結びつけられない企画は駄目だけど、地元食材に限定した飲食場面の配信など、中高生の好きな要素と地域の情報を融合させられるのであれば採用することにしました」  
**動**画の再生回数は合計で1万回を超え、「見たよ!」と校外外で声をかけられることも多くあり、「自分も地域活動に取り組みたい」と、一歩を踏み出そうとする後輩も増えた。少しずつではあるが、中高生と地域をつなげられているように感じている。同時に、動画

に対する反響が大きくなるにつれ、自分たちは、地域の、米沢東高校の一員なのだ」と実感し、動画内での言動に対する責任感が一層強まった。  
「調べて終わるのではなく、YouTubeという発信の場があったことで、自分たちは大きく成長できたと思う」と、2人は口をそろえる。特に自覚するのは、動画に関心を持ってくれた人から、次の企画のアイデアをもらったり、ゲストを紹介してもらったりする、「人を巻き込む力」が向上したことだ。  
「将来は公務員になって、防災など、地域になくはない活動の中で、人々がつながりを実感できる



写真 米沢市役所の職員など、地域の人たちとコラボレーションしながら、高校生目線の楽しい動画で、地域の魅力と課題を伝える。

ようなユニークな施策を考えたい」(大竹さん)、「インターシッブなど、高校生や大学生を地域の企業とつなぐコーディネーターとして起業したい」(二宮さん)と、2人の夢はともに、地域を舞台に人をつなげていくことだ。

### 学校プロフィール

設立 1898(明治31)年  
形態 全日制/普通科/共学  
生徒数 1学年約160人  
2021年度入試合格実績(現役のみ)  
国公立大は、宮城教育大、山形大、福島大、新潟大などに28人が合格。私立大は、東北学院大、東北福祉大、専修大、東海大、東洋大、日本大などに延べ151人が合格。

先生がご存知の「イノベティブな生徒たち」をご推薦ください!

ご推薦いただける際は、右の2次元コードを読み取っていただき、フォームに沿ってご入力いただきますようお願いいたします。

